

なお、正科生の履修人数により、閉講となる場合や、科目の開講時間が変更になる場合もあります。
あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

公共経営研究 4（財政学）

政府は多種多様なサービスを供給しており、日常の生活感覚よりはるかに大きく「財政（政府の経済活動）」は我々の生活の隅々にまで関わっています。今日、財政赤字など日本の財政は多くの問題を抱えており対策を講じなければなりません、財政改革は私たち自身の生活の改革でもあります。本授業では、基本的な概念・理論を踏まえたうえで、様々な財政の問題について考えていきます。

公共経営研究 10（海外行政研究）

ニュージーランド・スイス・英国の行政について概説します。第一に、ニュージーランド現代地方自治の仕組みを住民自治の視角から日本の現状と比較しつつ概説します。第二に、スイスの政治と行政について地方自治体から国までデモクラシーを鍵概念として議論するとともに、とくに国際比較を通じて世界の中でどのように位置づけられるのか検討します。第三に、19世紀～20世紀にかけての英国都市の発展と都市問題への対応を、①個別行政主体、総合行政主体という機能面、②個別法、一般法という法形式と中央集権化の側面の双方から分析する視角から、概説します。

国際ビジネス研究 10（経営戦略論）

経営戦略に知的関心を持つ方だけでなく、事業達成に意欲的な方や管理職の方の受講も歓迎します。本講義では企業経営の事例から、企業経営戦略の流れ及びそれらの企業目標への繋がりを学びます。理論及び実践の面から、企業経営と経営戦略を学ぶ事を本授業の中心とします。経営計画および経営戦略の作成、それらの達成までの課題解決のための知識の習得を、本講義の前半で行います。理論を解明し、最も重要である戦略の実践に基づいて、現代企業経営成功の極意を学びます。理論の解説や実践事例の紹介と併せて、経営者向けの戦略を策定するトレーニングなども行います。

ビジネスリスクマネジメント論

本講義は、寄附講座「アジアビジネス人材養成講座」の一部に位置付けられ、アジアにおけるビジネスで活躍する人材を育成するという目的のもと、海外ビジネス全般だけでなく特に東南アジアを中心とした渉外法務（契約や労務管理、リスク管理など）について理解が深められるよう集中的に解説します。講義の中では、講師のインバウンド・アウトバウンド法務や東南アジア（特にベトナムに関する）ビジネスコンサルティングの経験なども紹介しつつ、渉外法務の理論（総論・各論）及び実践について議論します。

科目名	担当教員	時間割（期日指定）	単位数	備考
公共経営研究 4 （財政学）	三木 潤一	8月23日(水) 6～7時限	2	
		8月24日(木) 6～7時限		
		8月25日(金) 6～7時限		
		8月26日(土) 1～5時限		
		8月27日(日) 1～4時限		
公共経営研究 10 （海外行政研究）	和田 明子 岡本 三彦 馬場 健	8月8日(火) 6～7時限	2	
		8月9日(水) 6～7時限		
		8月10日(木) 6時限		
		8月11日(金・祝) 1～5時限		
		8月12日(土) 1～5時限		
国際ビジネス研究 10 （経営戦略論）	ジハン シャザダナイヤール	8月14日(月) 1～5時限	2	
		8月15日(火) 1～5時限		
		8月16日(水) 1～5時限		
ビジネスリスク マネジメント論	笠原 智恵 上東 亘	8月17日(木) 6～7時限	2	
		8月18日(金) 6～7時限		
		8月19日(土) 1～5時限		
		8月20日(日) 1～6時限		